

四年 文学教材

七月三十一日二校時

一つの花

竹岡七重先生 1/2時間

〈区画〉七区画

第一次指導

二とく

○題目 一つの花の絵をみる。

・人物・服装・時(時代)・場所・花

◎ひびき コスモスの花の絵を見る。

・育てたのは誰 女の子 何才

○手引き

・絵のある区画からゆみ子のことを一つずつ書き出す。(123・67)

六とく

○事実・区分

・ゆみ子が最初に覚えた言葉は何。

・ゆみ子の表情と父

・三区分 中三区分

◎山

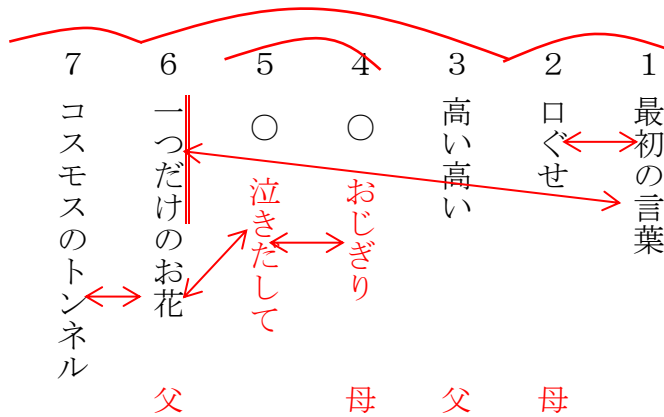
・一つの花に託した父の願いは。

○余韻

・コスモスに囲まれたゆみ子の明るさと共に寂しさが漂う話だなあ。

〈板書事項〉

一つの花



メモ

〈区画〉 絵にも番号○

7	6	5	4	3	2	1
p118	p116	p115	p114	p114	p113	p112
一行目	十一行目	十行目	十三行目	一行目	三行目	四行目
それから	お母さん	駅には	それから	「なんて…」	ゆみこは	「一つだけ」
⑦	⑥	無	無	③	②	①

四年 文学教材

八月一日二校時

一つの花

竹岡七重先生 2/2時間

第二次指導

二とく

○おさらい

- ・父がゆみ子にしたことは何番か。
- ・母がゆみ子にしたことは何。

◎承接

- ・1から6までは、ゆみ子が何才か。
- ・ゆみ子はどんな子に育ったか。

○手引き

- ・小さなお母さんになったゆみ子の様子を書いて考える。

六とく

○語義・区分

- ・やがて いそがしく スキップ
- コスモスのトンネル

- ・二区分 前二区分

◎心

- ・お父さんの願いは、かなったか。
- ・この文章の描き方を考える。

○余韻

- ・コスモスに囲まれたゆみ子の明るさと共に寂しさが漂う話だなあ。

〈板書事項〉

7 6 5 4 3 2 1

口 |

高 |

お |

泣 |

一 |

お肉 お魚 どっち

やがて、ミシンの音が
またいそがしく始まった
とき、買い物かごをさげ
たゆみ子が、**スキップ**を
しながらコスモスのトン
ネルをくぐって出てきま
した。そして、町の方へ
行きました。

今日は日曜日、ゆみ子が、
小さなお母さんになって、
お昼を作る日です。

メモ